

審査について

審査員

- **黒田 知宏** 京都大学医学部附属病院 医療情報企画部 教授
- **築地 達郎** 龍谷大学社会学部 准教授
- **菅原 正博** 経済学博士(大阪市立大学) / 日本広報学会理事 / 日本感性工学会参与
- **盛 宮喜** 日本医業経営コンサルタント協会・月刊 JAHMC 前編集長 (敬称略)

審査・選考の方法

- 第1審査は、HIS サイトに掲載された「応募事例」を審査員がネットにより採点・審査します。この第1審査の採点合計による上位10位前後を「入選」とします。
- 入選となった施設は、フォーラム当日、当開催地会場において1題あたり7～10分以内で発表し、フロアにいる審査員により第2審査を受けます。また、会場からの参加者による採点を参考に意見交換を行い、最優秀賞（BHI 賞 2018）および各賞の選考を行います。

表彰

- 当日発表の応募事例を審査により次のとおり 2018 年の優秀入賞事例を表彰します。
- BHI 賞（最優秀賞）に賞状、賞金、賞品を、その他の賞にも賞状および賞品を進呈します。
- 同様にそれまでに発表した BHI デザイン賞の最優秀賞1点、企画賞 数点などを表彰します。

同意事項

- 当応募方法に準じて応募するものとします。
- 発表された情報はすべて公開情報として扱います。個人情報などを含む場合は、応募者で事前に対応いただくものとします。
- 発表者は、審査や今後の理解・啓蒙のための各種写真・動画の撮影に同意されたものとさせていただきます。また、当日会場での参加者による写真・動画撮影の禁止に同意していただきます。

審査要項

○ 応募事例は、以下の5つの視点で審査員により審査して BHI 賞 2018 を決定します。

1. **テーマ** 広報活動にヘルスリテラシーへの姿勢があるか
2. **目的** この活動は、何を達成したいか、具体的な目的があるか
3. **プロセス** この活動は、どのような方法や手段を活用したか
4. **成果** 実施した結果、どんな定性・定量の成果が得られたか
5. **提案力** 発表は、わかりやすくする工夫が感じられたか

- いずれも5段階評価（5点満点）とし、その合計により選考します。
- 実際の発表を目の前にして認識できた程度により評価します。
- 5. 提案力はコマとしての表現がなくても、実際の発表によって（印象により）評価します。
- ※ 今回の審査基準は、従来の経験をもとに一部を改変しています。
- ※ 第一審査で事前に選ばれた上位入賞 10 事例（程度）は、当日会場の席において審査します。
- ※ 発表採点のあと審査室において第二審査の集計と審査員の意見交換により賞を決定します。
- ※ また、当日会場での審査を希望する「参加者による審査・評価」を行い、その結果をふまえて審査員間の議論により最終の各賞を即日決定します。
- なお、参加者の審査は、あくまで本人の広報理解を深めることを主目的とします。審査会は参考資料として判断します。

◆ BHI デザイン賞も同時開催!

併催! BHI デザイン賞(広報誌など)入賞作品展示 & HIS サイト掲載
HIS フォーラム会場内に <病院広報誌コンクール> 2018 年入賞作品展示紹介などを行うスペースを設け、開会前や休憩時間に当日参加者の閲覧に応えます。参加者は閲覧無料です。
こちらの応募を希望される場合は、下記の HIS 事務局までお問い合わせください。

■ 応募の各種相談・お問い合わせ先

NPO 法人日本 HIS 研究センター 事務局 (サポートデスク)

TEL: 075-741-8219 WEB <http://www.j-his.jp/>

〒604-8112 京都市中京区柳馬場通三条下ル 六角アーバンリズ 502 号

Fax: 075-741-8229 Mail: info-his@j-his.jp

HIS 理事・企画運営メンバー

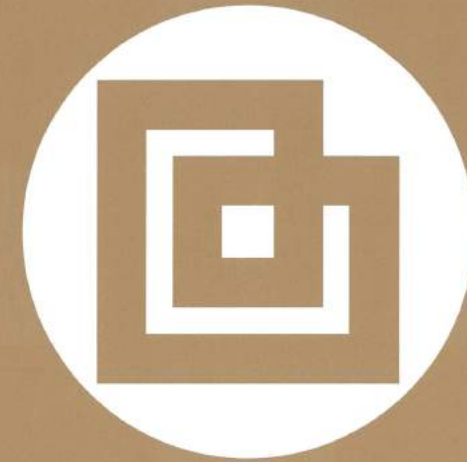
安藤高夫(永生病院)、石田章一、石田真也
糸井信人、加藤奨一(友愛記念病院)
小辻一巳、佐藤義晃、棚橋一博(交野病院)
富井淑夫、美留町利朗、松永行利、山下秀男
(※あいうえお順・()内は法人会員)

—— NPO 法人日本 HIS 研究センターとは

HIS とは、Hospitality (あなた)、Identity (わたし)、System (みんな) というトリニティを表す造語で、「みんな違って、みんないい」という視点から、さまざまな企画創造や問題解決に役立てようとする思考ツール(登録商標)。

主な事業

- 病院広報の指導者および担当者養成と全面的サポート
- 会員施設の広報・アメニティの相談・サポート
- 快適・安全でわかりやすい施設環境のデザインの提供
- 病院広報・情報公開「はとはあと」評価事業



HIS Forum 2018
in KYOTO
第22回全国病院広報研究大会

企画概要&応募規定

大会総合テーマ

病院広報が育むヘルスリテラシーと健康社会

開催日時

2018年10月27日(土) 13:00 開会
(申込受付 11:00 開始)

定員/応募料

定員 150名 / 応募無料
※ただし1団体1点に限定

大会プログラム

11:00	申込者入場受付開始	
13:00	開会歓迎 ご挨拶	
	■ 門川 大作 京都市長	
	■ 清水 鴻一郎 京都私立病院協会会長・医療法人清水会理事長	
	主旨説明	
	■ 石田 章一 NPO法人日本HIS研究センター 代表理事	
13:30	BHI 賞応募優秀事例の発表 (演題 10 題前後を予定) 同時に審査および動画撮影あり	
16:00	基調講演 “病院広報で育むヘルスリテラシーと健康社会”	京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻健康情報学分野 教授 中山 健夫先生
17:00	各賞の表彰式 (壇上において BHI デザイン賞および BHI 賞 2018 の表彰)	
18:00	情報交流懇親会 (聖護院御殿荘において宴会形式)	
20:00	終了	※プログラムは事情により変更になることもありますのでご注意ください。

主催

NPO 法人日本 HIS 研究センター

会場

聖護院御殿荘光淳(史蹟旧仮皇居)

URL: <http://www.gotenso.com> 京都市左京区聖護院中町15
JR京都駅から市バス206系統乗車、「熊野神社前」下車



自然と歴史に囲まれた
由緒ある聖護院門跡に
身を置くご縁を

聖護院とは、本山修験宗の総本山であり、代々の皇族が御門主となった格式高い門跡寺院です。天明8年(1788)と安政元年(1854)の二度の御所炎上により仮皇居に用いられたことから、昭和11年に「聖護院旧仮皇居」として国の史跡に指定されました。この由緒ある聖護院門跡の一角を旅館として解放したのが「聖護院御殿荘」です。この伝統を受け継ぐ風格とおもてなし、なによりも自然と歴史に培われた日本文化の真ん中に身を置けるご縁に深く感謝しようではありませんか。(参考資料:同館リーフレットより)



参加費用等について

当日の参加(申込み受付時)

HIS 会員の方	6,000円 / 1名
会員でない方	8,000円 / 1名

参加者お一人1票の「参加者審査」による審査ができます。詳しくは参加申込書をご覧ください。

懇親会の参加費(当日会場で)

懇親会参加費	6,500円 / 1名
--------	-------------

そのほか御殿荘による宿泊パッケージもあります。直接、聖護院御殿荘(電話 075-771-4151)に直接お問い合わせください。※1次審査通過(入賞)での発表者の当日参加費1名分にかぎり「無料」とします(ただし、懇親会の参加費用については別途ご負担願います)

ご挨拶 Greetings

今年の HIS フォーラムは 18 年ぶり、HIS が事務局をおく京都市での開催となりました。2000 年までは京都で年 1 回、主に病院広報誌コンクールの一環としての開催でした。その後は前年度 BHI 賞受賞病院が主幹を務める形で全国各地を回ってきましたが、昨年の大阪大会での BHI 賞が、一昨年の BHI 賞受賞施設と重なってしまった関係から、思い切って京都での自主開催に踏み切りました。

考えてみれば、HIS の創発の地・京都開催は、私たち NPO 法人が従来やってきた活動への振返りの機会でもあり、修復と新しいステップのチャンスになるのではないかと。その何かの“お告げ”をもとに京都での医療・福祉の盛り上げを考えたのです。

このお告げとは何かといいますが、誰もが期待する医療サービスの質向上は、提供側の努力はもちろん、利用者の思いや知識を如何に共振させるか、広報などと言ってもそこに切り込むことでなければ意味がない。その仕組みに光を充て、それぞれの日々の笑顔と喜びとの関係を強める仕組みを見ることが必要ではないか気づいたことです。

この気づきは、私たちにとって大変幸運なものでした。健康は誰もの願い、幸せになるためにあるのです。ある情報に述べられていたヘルス・リテラシー(health literacy)とは、自らの健康への意思決定に必要な、基礎となる健康知識やサービスであり、主体的に調べる、知る、理解するなどして活用する個人的能力に負うところが大きいと書いてありました。まさに医療サービスの利用者自らが理解・修学していく、医者さん任せにしない生き方なのです。

病院に限らずこれからの健康支援には、いっそうのコミュニケーション能力と、人々に健康への道筋を示唆するチカラが必要になります。今回の病院の応募事例に、少しでもこのような思考がしみ込んでいることに期待します。今後ともこんな機会やご縁に身を置きながら、<あなた><わたし><みんな>による健康づくりを提言する NPO 法人日本 HIS 研究センターに力強いご支援をお願いいたします。

NPO 法人日本 HIS 研究センター
代表理事・石田 章一

応募概要 application outline

対象事例

○ 医療・福祉施設が行なう広い意味での情報公開や文化・環境づくりの実例を、一定の規約に基づき発表いただきます。広報誌はもちろん、ホームページ、各種メディア対応による適切な情報企画、社会貢献、利用者満足、職員満足などを通じた革新的な取り組み、広報事例を応募ください。(事例内容に迷いがある場合は、HIS 事務局までご相談ください)

応募方法

○ 応募は、あらかじめ事務局が用意した応募フォーム(ppt ファイル)を HIS サイトからダウンロードし、指定された必要事項(活動のテーマ、活動の目的、活動のプロセス、活動の成果など)を記述して事務局宛 PDF のメール添付で送信ください。
info-his@j-his.jp

○ 従来の審査項目から変更した部分がありますので、ご注意ください。
○ 2次審査の発表に使うスライドなどの情報は、発表時向けに多少の変更は可能ですが、応募事例そのものが変わるなど大きな変更はできません。変更するときは、事前に事務局と協議して決定することとします。

応募規定

○ 病院など医療・福祉施設がおこなう地域貢献の中で、今回の総合テーマである「病院広報によるヘルスリテラシーの強化・向上」を意図した広報活動の取り組み事例をご発表いただきます。
○ 提出されたすべての応募情報はお返しできません。
○ 応募者は、すべての応募に必要な PDF データなどは、NPO 法人日本 HIS 研究センターなどのホームページその他で公開することを了承したものとします。
○ 提出の応募書類に不備や審査基準を満たしていない場合は、審査できないことがあります。
○ 応募作品・応募内容は、応募者の許可なく NPO 法人日本 HIS 研究センターが行なう対外発表、インターネット、出版(電子メディアを含む)など、パブリシティ活動に使用、掲載または販売することがあります。

応募期間 応募料は1法人1事例に限り「無料」

7/1~7/31 火 17時厳守